

2014年3月18日

報道関係者 各位

## 経済産業省 第一回 グローバルニッチトップ企業 100 選に選定

オプテックス株式会社  
滋賀県大津市雄琴5丁目8-12  
代表取締役社長 小林 徹  
コード番号 6914 東証第一部

オプテックス株式会社は、国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち、ニッチ分野において高いシェアを確保し、良好な経営を実践している企業を選考する経済産業省主催の「グローバルニッチトップ企業100選」に選定され、3月17日（月）経済産業省（東京都千代田区霞が関）で開催された表彰式典で表彰を受賞いたしました。

経済産業省による先行評価ポイントは、①世界シェアと利益の両立 ②独立性と自立性 ③代替えリスクへの対処 ④世界シェアの維持性 です。

オプテックスは、創業時より「安全・安心・快適」な社会創造を合言葉にニッチ市場を見つけ出し、独自のセンシング技術と新たな発想力で積極的な成長戦略を遂行することを目標としてきました。市場規模は小さくても、大手が参入せず価格競争に陥ることのないプレーヤーが少ないニッチ市場を見つけビジネスを拡げ、オリジナルなアイデンティティを創ることを重視しています。

今回応募した当社主力事業の1つである防犯センサの中でも、屋外向け侵入検知センサは約4割の世界シェアを有しています。

従来、防犯システムは、建物内への侵入後に検知する「事後通報」が主流でしたが、当社は建物への侵入前に屋外で検知し、犯罪を未然に防ぐ「事前抑止」にいち早く着目しました。

屋外では、屋内に比べセンサの自然環境の変化による誤動作要因が多く、確実な侵入者検知は難しいと言われてきました。悪条件のもと、当社は1996年に画期的な新技術を開発・提案し、屋外環境に左右されない、安定した性能を発揮する屋外向け侵入検知センサを市場に送り出しました。

上市した当初は事前抑止の重要性が注目されませんでした。2001年のアメリカ同時多発テロを契機とした危機管理意識の高まりもあり、「事後通報から事前抑止へ」という防犯概念が普及し、現在では世界中の重要施設（空港、発電所、インフラ）や建物のプロテクションの一環として当社の防犯センサが受けいられています。

世界に先駆けて屋外侵入検知という概念と製品を生み出し、屋外環境で安定した性能を発揮するセンシング技術力の高さが強みとなっています。

今後もオプテックスは、セキュリティ業界だけでなく新たなビジネスフィールドを開拓し、センシング技術でより良い未来を築く事業活動を行ってまいります。

**【オプテックス株式会社について】**

取締役会長兼代表取締役社長 小林 徹

所在地 滋賀県大津市雄琴 5-8-12

従業員数 1,214 名（連結）

1979 年設立。防犯センサ、自動ドアセンサ、FA 向けセンサなどセンシング技術を応用しさまざまな産業に製品を提供しているセンシング技術のリーディングカンパニー。

1980 年遠赤外線を用いた自動ドアセンサを世界で初めて開発。長年培ったセンシング技術の品質と信頼性は世界中で高い評価を受けております。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

オプテックス株式会社 管理本部 広報・IR 室 大塚 暁子

TEL : 077-579-8000、FAX : 077-579-7190

URL : <http://www.optex.co.jp/>